

# マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース（※）の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校の実務や、研修（第1部課程等）の履修によって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

「人事課から連絡あって、来年度の自治大派遣は1年間らしい。」  
「え？なんですか、それ？」

令和6年度のまだとても寒い頃、職場の人事担当者からこんな形でマネジメントコース派遣の打診を受け、今、あっという間に真夏を迎えようとしています。

自治大への研修派遣は希望していたのですが、まさか運営側業務にも従事する「マネジメントコース」なるものがあるとは全く知らず、このつぶやきを読んだりしながら準備し、令和7年4月1日に自治大学校教務部に着任しました。

あっという間でしたが、公私共にとても濃密な日々でした。

業務は第1部課程第144期の運営を担当し、素晴らしい職場の皆様の力を借りてなんとか運営しています。

各界から一線級の講師を多数お迎えして講義等をいただきますので、講義前の打合せ等の時間に、様々な（本当に多様で、刺激的で、自分の世界が広がる）お話ができることが、自分としてはこの仕事の醍醐味の一つだと感じています。

まず当面の目標として、第144期の研修生が卒業する9月まで、研修生の皆様と一緒に走り切りたいと思っています。（その後、私は10月から第145期生として研修生になる予定です。）

第144期研修生の方々とも仲良くさせていただき、サッカー好きのメンバーで埼玉スタジアムへJリーグ・浦和レッズ戦を見に行き、「レッズの圧倒的ホーム感」を体感したことが、素敵な思い出の一つとなっています。



ちょうど40歳を迎える年度に、こんな素晴らしい日々を過ごせるとは思っていませんでした。

派遣元、自治大学校に出講してくださる先生方、同僚の自治大職員やマネジメントコース生、研修生の皆様に心より感謝しています。

最後に、恐縮ですが私事で本稿を終えさせていただきます。

昨年の夏頃（ちょうど1年前ぐらい）、自治大への研修派遣希望を職場に出す前に、「約半年ぐらいならなんとかかなるか・・・」と、ギリギリの判断で東京行きを承諾してくれていたところに、本稿冒頭の”1年間の派遣打診”を受けた際、「1年間はとても無理だろうな・・・」と、半ば諦めムードで相談したところ、

「人生短いんだから、やりたい事はやりたい時にやっておいで。」

と、力強く背中を押してくれた妻、  
しっかり者で家族を支えてくれる長女、  
みんなを笑顔にしてくれる次女、

家族みんなに感謝を述べさせていただき、私のつぶやきの締めくくりとします。皆様、本当にありがとうございます。

しっかり楽しみながらたくさん勉強して、成長して、来年の3月に故郷に帰ろうと思います！